

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 八尾市立久宝寺小学校

① 学習指導案

プログラム	No.11 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全11時間)	わたしたちの久宝寺 ～創立150周年を記念して～
学習のねらい	○調査活動を通して、自分のまち（地域）のよさについて知る。 ○情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を工夫する。
学習内容	1 地域との連携の中でフィールドワークを実施し、地域の歴史的な建造物等に着目し、どのような歴史を紡いできたかについて知る。 2 活動を通して、得た情報や知識を整理する。 3 パンフレットづくりを通して、どの情報をどのように伝えるのかについて考え、効果的に伝える方法について学ぶ。 4 パンフレットを評価する（見やすさ、言いたいことは伝わっているか、手に取ってみたいと思うか等）
参考資料 準備品 実施場所等	市販のガイドブック デジタルカメラ 地域図 久宝寺寺内町

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2 時間	○地域の中から訪問場所を選ぶ。 ○訪問場所で調べたいことを考える。	○取材シートのひな形を用意する。	活動意欲 (観察・ワークシート)
4 時間	○現地で、地域の人の話を聞いたり、 写真を撮ったりして資料を集める。	○より具体的な情報を収集できるように促す。	課題設定能力 (観察・ワークシート) コミュニケーション能力 (観察)
3 時間	○訪れた場所に関連する情報をどのように伝えるといいかを考える。 ○パンフレットを作成する。	○歴史的な事実だけではなく、地域の方の思いを聞くように促す。 ○市販のガイドブック等を例示することで、読み手を意識した工夫について考えられるようにする。	情報の整理 (ワークシート)
2 時間	○パンフレットを評価する。	○評価する観点を提示する。（見やすさ、言いたいことは伝わっているか、手に取ってみたいと思うか等）	表現力 (発表・パンフレット)

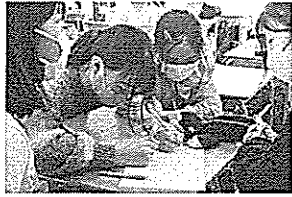
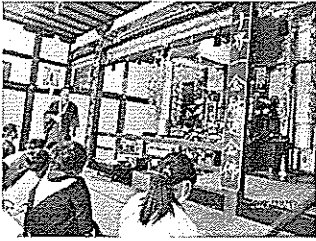
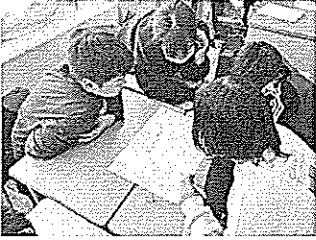

<留意点>

○地域での調査活動の際には、交通安全を確保する。

○パンフレットを作成する際には、読み手を意識して、写真のレイアウトや言葉の選び方を配慮できるように声かけをする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 八尾市立久宝寺小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室	パンフレットのテーマを設定し、調べる内容を検討する。		地域の中で、興味をもった「モノ」や「ヒト」に目を向けようとしていた。
4	学校周辺	調べたいと思った場所やお店に訪問し、情報を集める。		初めて聞くような話や情報に、驚くとともに、関心をもって聞いているようだった。
6	教室	集めた情報を整理し、パンフレットを作成する。		文字の大きさやレイアウトにこだわり、工夫してパンフレットを作ろうとしていた。
2	教室	完成したパンフレットの改善点を検討し、つくりかえる。		一度つくったパンフレットを客観的に見て、具体的に改善し、作り直していた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">• できるだけ、児童が提案したことをパンフレットに反映できるよう、紙面の自由度を高めた。• 各クラスにおいてパンフレットのテーマを決めることによって、地域や学校の歴史等、多くの視点から、調べたりまとめたりすることができるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <ul style="list-style-type: none">• 授業時数の確保が難しく、児童にとって調べる活動に必要な時間を十分に確保することができなかった。• 誤字や脱字、内容の間違い等、何度も校正することが必要であった。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">• 自分たちの町や学校に目を向けるようになり、これまで知らなかった情報や人の想いにふれて驚きや感謝の気持ちをもつようになった。• 完成したパンフレットを見て、満足感を得ていた。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">• 児童が自ら進んで、取り組もうとする児童の様子がみられ、学習をすすめる主体が児童であることの大切さに気づくことができた。• 地域の方の想いや学校の歴史にふれることで、勤務校への理解が深まった。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">• 児童の様子から、「相手に伝わる表現方法で伝える」ことにおいて課題を感じたので、国語科で文章表現の工夫について重点的に学習できるようにする。